発行日　2011 年 12 月 28 日

WiseNET 2011.12

発行：株式会社ワイズ
ワイズ公共データシステム(株)
連絡先：TEL.026-266-0710 FAX.026-266-0845
[URL]　http://www.wise.co.jp/

送信枚数　1 枚

＜　兼業事業　②　＞

先月号では、現在の経済状況や経審制度の特徴から兼業事業が建設会社にとって必要であると述べさせてもらいました。先月号ではすこし大きな会社での比較でしたので、今月号では身近にある小さな会社が兼業事業を取り入れた場合にどうなるかを検討してみました。ここでは、比較を容易にするために兼業事業による投資や兼業事業運営上の債権債務の増加による貸借対照表への影響を捨象しています。

右記のような財務内容の A 社が表 1 にある兼業事業を開始したとします。表 1 の兼業事業は売上総利益率（(売上高－売上原価）÷売上高）が 10%であり、また利益は全く出ていません。兼業事業の売上高が 1,000 万円、2,000 万円と増えていくと Y 点（経営状況）がどのように変化するかは表 1 の通りです。儲からない兼業事業でも Y 点（経営状況）は増えていきます。**売上高が本業である建設業と同じ 5,000 万円で、119 点増えています。**また、表 2 は兼業事業の売上高が 5,000 万円の場合で、販売費一般管理費の削減で利益が 40 万円、80 万円と増えた場合の Y 点（経営状況）の変化を示しています。**税引前純利益が本業である建設業と同じ 200 万円の時には、Y 点（経営状況）は 8 点増えています。また、仮に兼業事業を 2 年間やったとすると 663 点が 665 点になり、10 点増えます。こうしてみると、売上高、売上総利益の増加の方が利益の増加より効果が大きいといえます。**

A 社 貸借対照表　単位:千円

流動資産 40,000	負　債 60,000
固定資産 40,000	資本金 10,000 利益剰余金 10,000
資産合計 80,000	負債純資産合計 80,000

A 社 損益計算書　単位:千円

完成工事原価 40,000	完成工事高 50,000
販売費一般管理費 7,500	
営業利益 2,500	
支払利息 500	
法人税等 800	
当期純利益 1,200	

注：負債純資産合計　前期8,000万円　経常利益　前期200万円、減価償却実施額　当期前期とも400万円　法人税等　前期80万円　引当金増減額、売掛債権増減額、仕入債務増減額、棚卸資産増減額、受入金増減額ともに0円

(表1)　兼業事業売上高の変化とY点 (経営状況)

兼業売上高	兼業売上なし	1,000万円	2,000万円	3,000万円	4,000万円	5,000万円
兼業売上高	0	1,000	2,000	3,000	4,000	5,000
兼業売上原価	0	900	1,800	2,700	3,600	4,500
販売費一般管理費	0	100	200	300	400	500
営業利益	0	0	0	0	0	0
兼業事業合算後の売上高	5,000	6,000	7,000	8,000	9,000	10,000
兼業事業合算後の売上原価	4,000	4,900	5,800	6,700	7,600	8,500
兼業事業合算後の売上総利益	1,000	1,100	1,200	1,300	1,400	1,500
Y点	536	571	598	620	638	655

(表2)　兼業事業利益の変化とY点 (経営状況)

兼業事業の利益	0万円	40万円	80万円	120万円	160万円	200万円
兼業売上高	5,000	5,000	5,000	5,000	5,000	5,000
兼業売上原価	4,500	4,500	4,500	4,500	4,500	4,500
販売費一般管理費	500	460	420	380	340	300
営業利益	0	40	80	120	160	200
上記利益に対する法人税等		16	32	48	64	80
兼業事業合算後の売上高	10,000	10,000	10,000	10,000	10,000	10,000
兼業事業合算後の売上原価	8,500	8,500	8,500	8,500	8,500	8,500
兼業事業合算後の売上総利益	1,500	1,500	1,500	1,500	1,500	1,500
Y点	655	657	658	660	662	663

いつも順風満帆とはいきません。Y 点（経営状況）の配点構造を考えて、苦しい時を乗り越える方策を見つけなければなりません。

ＷＩＳＥＮＥＴ編集部　松　村　　清（税理士）

「WISENET」は建設業業務支援ソフト「Wisdom (ウィズダム)」ユーザー様、ワイズ公共データシステム(株)に経営状況分析申請を頂いたお客様、又は資料のご請求を頂きましたお客様及び研修会で名刺交換をさせていただきました皆様等に経審に関する最新情報、経審書類作成のワンポイントを紹介、月一回の発行となります。
内容に関するお問い合わせ、バックナンバーの請求 (99 年 2 月号～) は弊社までご連絡下さい。弊社ホームページよりバックナンバーのダウンロードができます (12 月号は 12 月 28 日より可能)。ログインIDは「1921」です。入力後、[ログイン] ボタンをクリックして下さい。 → ワイズホームページ　http://www.wise.co.jp/